

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『ヒト死後脳（海馬歯状回）を用いた single cell transcriptome による成体神経新生の解析』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2009年4月以降2023年8月末日までの間に国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、NCNPブレインバンクでの剖検検体の保管および研究使用に関して同意された方の中から、死後の神経病理学的解析により顕著な神経疾患なし、と診断された方。

【研究期間】

研究実施許可受領後（2023年10月12日）より2024年3月31日まで

【研究代表者】 エーザイ株式会社 石原康晴

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター 病院臨床検査部 高尾昌樹

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

本研究は、成人の脳で神経細胞が新たに生成されるかどうかを調べて、将来的にアルツハイマー病創薬につなげることを目的としています。

NCNPからエーザイ株式会社に凍結脳を提供し、エーザイ株式会社では、これを用いて単一細胞（single cell）溶液を調製します。蛍光活性化セルソーティング（FACS sorting）により神経幹細胞を含む細胞集団を濃縮したのち、1細胞内における遺伝子発現解析を行います。得られたデータは、カン研究所およびG2D2（US）において解析し、細胞集団を同定します。情報は、エーザイ株式会社へ送られ、遺伝子発現解析の結果と照合されます。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料：脳神経組織

情報等：性別、年齢、死後時間、RNA分解指数（脳の保存状態を示す数値）、疾患名、臨床診断情報、病

理解析結果 等

提供する試料・情報の取得の方法

試料はNCNPブレインバンクに登録され寄託された検体、情報は試料に付随してブレインバンクに集積する情報

【共同研究機関】

エーザイ株式会社 石原康晴（研究代表者）

株式会社カン研究所 榊原 揚悟

Eisai Center for Genetics Guided Dementia Discovery (G2D2)（米国） Bart Naughton

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 病院 臨床検査部 氏名 高尾昌樹

電話番号 042-341-2711（代表）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail：ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）